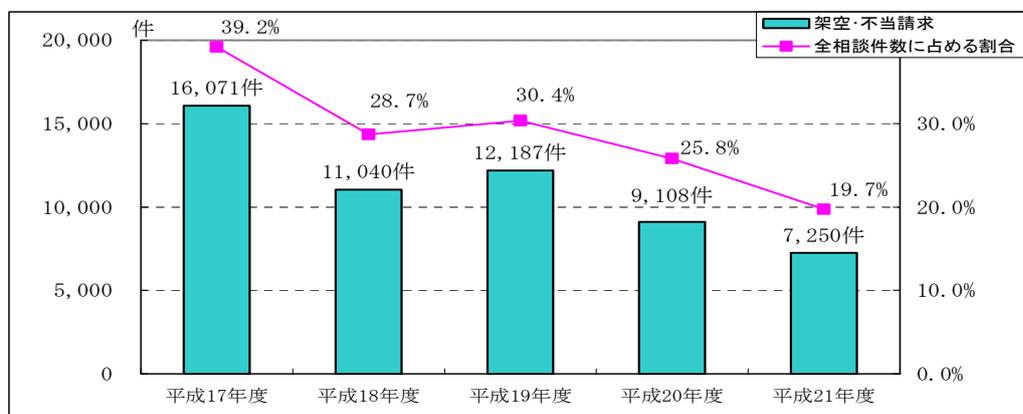


(2) 架空・不当請求に関する相談

- ① 利用した覚えのない有料サイトの利用料金、商品を特定しない料金・債権等といった名目の「架空・不当請求」に関する相談は7,250件寄せられ、前年度より20.4%の減少となった。

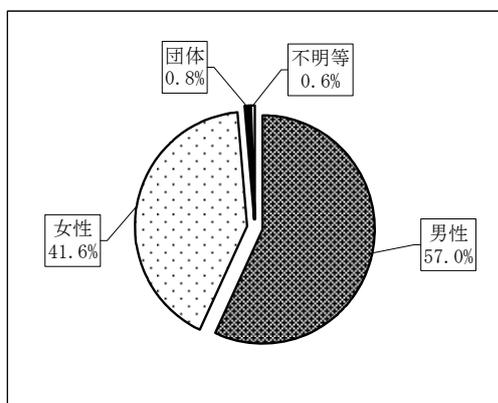
「架空・不当請求」の件数は平成17年度より減少傾向となり、平成21年度は全相談件数の2割となっている。(図-5)

【図-5】 架空・不当請求の相談件数推移



- ② 契約当事者の属性では、男性からの相談が6割近くを占めるが、前年度と比較すると男女の割合の差は縮まっている。(図-6・表-4)
年代別では「30歳代」が最も多いが、前年度と比較するとどの年代でも件数は減少している。特に「60歳代」の減少が目立っている。(図-7・表-5)

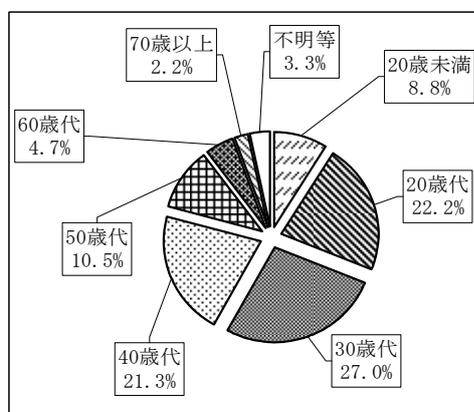
【図-6】 架空・不当請求の相談
契約当事者性別 (平成21年度)



【表-4】 架空・不当請求の相談
契約当事者性別件数 前年度比較

	平成20年度 (構成比)	平成21年度 (構成比)	対前年度比
男性	5,354 (58.8%)	4,133 (57.0%)	77.2%
女性	3,638 (39.9%)	3,016 (41.6%)	82.9%
団体	77 (0.8%)	61 (0.8%)	79.2%
不明等	39 (0.4%)	40 (0.6%)	102.6%
計	9,108 (100.0%)	7,250 (100.0%)	79.6%

【図-7】 架空・不当請求の相談
契約当事者年代別 (平成21年度)



【表-5】 架空・不当請求の相談
契約当事者年代別件数 前年度比較

	平成20年度 (構成比)	平成21年度 (構成比)	対前年度比
20歳未満	737 (8.1%)	640 (8.8%)	86.8%
20歳代	1,951 (21.4%)	1,607 (22.2%)	82.4%
30歳代	2,540 (27.9%)	1,958 (27.0%)	77.1%
40歳代	1,901 (20.9%)	1,542 (21.3%)	81.1%
50歳代	954 (10.5%)	761 (10.5%)	79.8%
60歳代	528 (5.8%)	343 (4.7%)	65.0%
70歳以上	209 (2.3%)	159 (2.2%)	76.1%
不明等	288 (3.2%)	240 (3.3%)	83.3%
計	9,108 (100.0%)	7,250 (100.0%)	79.6%